

新指導員紹介

2021年、愛知県「オンライン・小幡緑地本園現地実習」で指導員講習会を受け、県協議会に入会された12名の方の自己紹介です。

・池田千賀子(西三河):「子どもと自然とアート」をテーマに美術関係の仕事をしています。森林や木育などに興味があり、勉強したいと思っています。よろしくお願ひいたします。

・石川怜奈(尾張):私は、瀬戸市の「海上の森」と長久手市のモリコロパーク内の「もりの学舎」でインタープリターをしています。また、公園内を走っているバスの添乗員もしています。今、していることを自然観察の活動の中で生かし、自ら行動し、体験して、自然の大切さを伝えていきたいと思っています。

・岡島栄子(名古屋):自宅が自然に恵まれた地域にあり、尾張丘陵地区の観察会や湿地の保全活動に参加しています。最近、湧水湿地の貴重種や外来種のバランスを思案中です。よろしくお願ひします。

・桐山 誠(東三河):労働安全衛生に係る業務をしています。もっと自然に触れ合うことで、健康でポジティブになれる事を目指し、自身の体験を通して共感者を増やしていきたいと思っています。多少は体力も必要ですが、程よい疲れもたまには良いものです。講習会で学んだ「見るから観る」と「気づき」。理屈抜きで楽しい観察活動を皆さんと一緒に無理なくしていきたいです

・後藤めぐみ(名古屋):名古屋市の東山公園や平和公園によく行きます。家族で1万歩コースを歩くこともあります。ジョギングすることもあります。その中で自然に触れる愉しみを味わいたいです。また幼児教育にたずさわっており、こども達が自然(虫・植物)と親しみ、興味をもってもらえるように活動していきたいです。どうぞよろしくお願ひいたします。

・佐々木満作(名古屋):自然や緑に興味があり、これからより深く知りたいと思っています。よろしくお願ひします。

・三重県 陣田浩次:よろしく。

・中西 修(知多):自然やアウトドア活動が好きで、八ヶ岳の麓で自然を楽しむ中、自然保護に興味を持ち日本自然保護協会の会員になりました。指導員の資格を取得することで、今まで以上に自然との関わりを持ちたいと思っています。皆さんと共に活動を行っていきたく思いますので、宜しくお願ひ致します。

・真島大仁(名古屋):指導員講習会では講師の皆さん、NACS-Jの皆さん、指導員の皆さん、参加者の皆さんの熱い思いを感じました。受け取ったその情熱を育んで、聖火リレーのように、指導員の皆さんや観察会等の参加者の皆さんと繋ぎシェアして、走り続けたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

・松吉久美子(尾張):昔は虫取り少女でしたが、思春期に入ってから人の目をはばかり、捕虫網を捨てました。ただ愛しいものをあきらめきれず目で探し、目で追い、目に焼き付けていました。還暦になってのカミングアウトです。虫、大好きです。

・吉田めぐみ(名古屋):今回、「自然観察指導員養成講座」に参加させていただきとても勉強になりました。無事に腕章もいただくことができ、意識が高まりました。これから身近な観察会から参加をして、先輩方からいろいろと学んでいきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

・渡辺 泰(名古屋):水商売(名古屋の水道局)で生きてきましたが、あと1年ちょっとで定年退職です。スパッと違う世界で生きていきたいと思っています。北区味鋺で農協菜園「身土不二」といいますが、自然(しぜん・じねん)が全てだと思います。